資料２

食品安全委員会の運営について（令和８年７月～令和８年９月）

１．食品安全委員会の開催

７月：第１０３０回・１０３１回・１０３２回（３回）

（１）食品健康影響評価の要請案件（３品目）

添加物（１品目）	・酸化亜鉛（7/28）
遺伝子組換え食品等（１品目）	・JPAN013 株を利用して生産されたα-ガラクトシダーゼ(7/7)
添加物及び遺伝子組換え食品等（１品目）	・*Escherichia coli* BL21 GLase株を用いて生産されたα-1,4-グルカンリアーゼ（7/28）

（２）食品健康影響評価の結果通知案件（５品目）

農薬（４品目）	・シクロキシジム（7/21） ADI を 0.07 mg/kg 体重/日、妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対する ARfD を 2 mg/kg 体重と設定し、一般の集団に対する ARfD は設定する必要がないと判断した。 ・シアゾファミド（7/21） ADI を 0.17 mg/kg 体重/日と設定し、ARfD は設定する必要がないと判断した。 ・フロリルピコキサミド（7/21） ADI を 0.095 mg/kg 体重/日と設定し、ARfD は設定する必要がないと判断した。 ・エチプロール（7/28） ADI を 0.005 mg/kg 体重/日、一般の集団に対する ARfD を 0.03 mg/kg 体重、妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対する ARfD を 0.022 mg/kg 体重と設定。
農薬及び動物用医薬品（１品目）	・ジノテフラン（7/28） ADI を 0.22 mg/kg 体重/日、ARfD を 1.2 mg/kg 体重と設定。

（３）その他

・食品健康影響評価技術研究及び食品安全確保総合調査の優先実施課題（令和９年度）（案）について（7/21）
・食品安全委員会の運営（令和８年４月～令和８年６月）について報告（7/21）

８月：第１０３３回・１０３４回・１０３５回（３回）

（１）食品健康影響評価の要請案件（８品目）

農薬（７品目）	・1,3-ジクロロプロペン（8/25） ・カフェンストロール（8/25） ・チオファネートメチル（8/25） ・ベノミル（8/25） ・カルベンダジム、チオファネート、チオファネートメチル及びベノミル（8/25） ・プロピコナゾール（8/25） ・ホセチル（8/25）
動物用医薬品（１品目）	・メロキシカムを有効成分とする豚の注射剤（豚用メタカム２％注射液）（8/25）

（２）食品健康影響評価の結果通知案件（８品目）

農薬（２品目）	・1,3-ジクロロプロペン（8/25） 食品安全基本法第 11 条第１項第２号の「人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるとき」に該当するものと認められた。 ・シアナジン（8/25） ADI を 0.00053 mg/kg 体重/日、ARfD を 0.045 mg/kg 体重と設定。
動物用医薬品（２品目）	・動物用ワクチンの添加剤として使用する成分（トリオレイン酸ソルビタン）（8/4） 動物用ワクチンの添加剤として使用される限りにおいて、人への健康影響は無視できる程度と考えられるため、食品安全基本法第 11 条第１項第２号の「人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるとき」に該当すると認められた。 ・ローソニア・イントラセルラリス感染症生ワクチン（シード）（エンテリゾール イリアイティスＴＦ及び同ＦＣ）（8/18） ローソニア・イントラセルラリス感染症生ワクチン（シード）（エンテリゾール イリアイティス TF、同 FC）が適切に使用される限りにおいては、食品を通じて人の健康に影響を与える可能性は無視できる程度と考えた。
遺伝子組換え食品等（４品目）	・除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性ダイズ DBN9004 系統（食品）（8/25） 「遺伝子組換え食品（種子植物）に関する食品健康影響評価指針」に基づき評価した結果、人の健康を損なうおそれはないと判断した。 ・除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性ダイズ DBN9004

	系統（飼料）（8/25） 「遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方」に基づき評価した結果、改めて「遺伝子組換え食品（種子植物）に関する食品健康影響評価指針」に準じて安全性評価を行う必要はなく、当該飼料を摂取した家畜に由来する畜産物については、人の健康を損なうおそれはないと判断した。 ・KN012 株を利用して生産されたβ-ニコチンアミドモノヌクレオチド（8/25） 「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物のうち、アミノ酸等の最終産物が高度に精製された非タンパク質性添加物の安全性確認の考え方」を準用して評価を行った結果、改めて「遺伝子組換え食品（微生物）の安全性評価基準」による評価を行う必要はなく、使用形態が現行と同等である場合に限り、比較対象とした従来食品と同等の安全性が確認されたと判断した。 ・JPAo013 株を利用して生産されたホスホリパーゼ（8/25） 人の健康を損なうおそれはないと判断した。

（３）その他
- 令和８年度食品安全確保総合調査課題（案）について（8/4）
- 食品健康影響評価の結果に基づく施策の実施状況の調査結果について（第 30 回：令和７年９月 30 日時点）（8/25）

９月：第１０３６回・１０３７回（２回）

（１）食品健康影響評価の要請案件（６品目）

動物用医薬品（３品目）	・動物用ワクチンの添加剤として使用する成分（鶏卵全卵粉末）（9/8） ・フルニキシンメグルミンを有効成分とする馬の経口投与剤（バナミン ペースト）（9/8） ・ケトプロフェンを有効成分とする豚の注射剤（ディニタル）（9/8）
遺伝子組換え食品等（２品目）	・GABp6 株を利用して生産されたγ-アミノ酪酸（9/8） ・RFE8922 株を利用して生産されたリボフラビン（9/8）
飼料添加物（１品目）	・α-ガラクトシダーゼ・キシラナーゼ（9/15）

（２）食品健康影響評価の結果通知案件（３品目）

動物用医薬品（３品目）	・動物用ワクチンの添加剤として使用する成分（鶏卵全卵粉末）（9/8）

	動物用ワクチンの添加剤として使用される限りにおいて、人への健康影響は無視できる程度と考えられるため、食品安全基本法第 11 条第１項第２号の「人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるとき」に該当すると認められた。 ・フルニキシンメグルミンを有効成分とする馬の経口投与剤（バナミン ペースト）（9/8） 本製剤が適切に使用される限りにおいては、食品を通じて人の健康に影響を与える可能性は無視できる程度と考えられる。 ・ケトプロフェンを有効成分とする豚の注射剤（ディニタル）（9/8） 本製剤が適切に使用される限りにおいては、食品を通じて人の健康に影響を与える可能性は無視できる程度と考えられる。

（３）その他

・令和８年度食品健康影響評価技術研究の二次公募における採択課題（案）及び事前評価結果について（9/15）

２．専門調査会等の運営（全２７回）

専門調査会等名	開催回数	調査審議案件
添加物	３回	・亜塩素酸水（7/16、9/9） ・*Escherichia coli* BL21 GLase 株を用いて生産されたα-1,4-グルカンリアーゼ（9/9）
農薬第一	３回	・ジノテフラン（7/13） ・グリホサート（7/13、8/27、9/28） ・アセタミプリド（8/27）
農薬第二	２回	・トルクロホスメチル（7/23） ・フェントラザミド（8/26）
農薬第三	２回	・インダノファン（8/3、8/31）
農薬第四	２回	・シハロホップブチル（7/31） ・フルペンチオフェノックス（9/3）
農薬第五	２回	・ピメトロジン（7/29） ・テトフルピロリメト（9/30）
動物用医薬品	２回	・クロチアニジン及び d・d-T80-プラレトリンを有効成分とする畜舎噴霧剤（ヌーベルショット、トリプルアクセル）（8/31） ・メロキシカム（9/30） ・メロキシカムを有効成分とする豚の注射剤（豚用メタカム 2%注射液）（9/30）
かび毒・自然毒等	１回	・オクラトキシンＡ（7/27）
遺伝子組換え食品等	２回	・*Escherichia coli* K-12 DH1 MDO MAP1001h 株を利用し

		て生産された 2’-フコシルラクトース（7/22） ・H-ELP 株を利用して生産されたα-アミラーゼ（7/22） ・JPAN013 株を利用して生産されたα-ガラクトシダーゼ（7/22） ・GABp6 株を利用して生産されたγ-アミノ酪酸（9/28） ・RFE8922 株を利用して生産されたリボフラビン（9/28） ・JPBL014 株を利用して生産されたキシラナーゼに関する審議結果（案）についての意見・情報の募集結果について（9/28）
肥料・飼料等	２回	・プラドフロキサシン（7/27、9/16）
栄養成分関連添加物ワーキンググループ	１回	・専門委員等の紹介、ワーキンググループの運営等について、座長の選出・座長代理の指名、令和８年度食品安全委員会運営計画について（9/16） ・酸化亜鉛（9/16）
薬剤耐性菌に関するワーキンググループ	１回	・セフキノム硫酸塩を有効成分とする牛及び豚の注射剤（コバクタン／セファガード）（9/18）
評価技術企画ワーキンググループ	１回	・令和８年度食品安全委員会運営計画について、食品健康影響評価におけるリードアクロスの活用について（8/17）
食事由来の化学物質のばく露評価ワーキンググループ	２回	・食事由来の化学物質のばく露評価について（7/15、9/25）
ビスフェノール A ワーキンググループ	１回	・文献確認の担当表（案）について、評価書の骨子（案）について、文献確認及び評価作業のスケジュール（案）について（7/22）

３．意見交換会の開催等

（１）　講師派遣（全６回、うち委員４回）

開催日	開催地	講演会名	依頼者	対象者
７/１	神奈川県	大学院特別講義「食品安全を支える科学：食品安全委員会の活動と PFAS リスク評価」 （祖父江委員長）	麻布大学	大学院生、教員
７/13	長野県	令和８年度木曽郡合同栄養士会研修会「健康食品、サプリメントと安全に付き合う「健康食品による健康被害を防ぐために」～食品安全委員会 19 のメッセージ～」 （脇シニアフェロー）	木曽郡合同栄養士会	管理栄養士・栄養士、行政職員
７/17	宮城県	令和８年度第１回食の安全安心セミナー「食品安全を学ぶ、考える～リスクアナリシス？リスクコミュニケーション？	宮城県	一般市民

		～」 （事務局職員）		
9／5	東京都	FoodRisk21 勉強会「微生物リスク評価を中心として、食品衛生監視員の皆さんと語りたいこと（春日委員）／食品のリスクコミュニケーション 食品衛生監視員と共に考えたいこと（松永委員）」 （春日委員、松永委員）	FoodRisk21	食品衛生監視員等
9/25	徳島県	令和８年度徳島県消費者大学校大学院食品安全リスクコミュニケータ養成講座「病原微生物による食中毒を予防するには～古くて新しい課題～」 （春日委員）	徳島県	一般市民、学生等
9 /29,30	東京都	令和８年度食品安全行政担当者研修「食品安全に関するリスクコミュニケーション（松永委員）／食品安全関係素材集等を活用したリスクコミュニケーション（事務局職員）」 （松永委員、事務局職員）	農林水産省	地方農政局職員等

（２）意見交換会等（全１回）

開催日	内容	対象者
7 /29,30	食品安全の基本的な考え方、食品安全を守る仕組み、食品安全委員会の役割等（こども霞が関見学デー・プチ意見交換会）	小学生、中学生

（３）訪問学習（全２回）

開催日	内容	対象者
7/14	食品安全委員会の役割、食品安全を守る仕組み	大学生、教員 （昭和女子大学）
8／7	食品添加物の安全を守る仕組み	小学生、保護者

（４）親子イベント等関係省庁との連携（全１回）

開催日	開催地	イベント名	対象	共催団体
9/25～ 27	東京都	GOOD LIFE フェア 2026 「消費者参加型イベントにおける食品安全に関するブース出展」	一般消費者	消費者庁、厚生労働省、農林水産省、経済産業省

（５）学会等ブース出展（全３回）

開催日	開催地	学会名
7 /23,24	愛媛県	日本食品化学学会第 32 回総会・学術大会
9／8～	東京都	第 169 回日本獣医学会学術集会

11		
9 /24～26	京都府	第 85 回日本癌学会学術総会

４．情報提供

（１）Facebook、ブログ

健康に被害を及ぼすおそれのある案件、国民の関心が高い案件についての機動的な情報提供。

■７月：15 記事

閲覧数（Facebook）9,991 人/月、（ブログ）1,761 人/月

投稿日	記事内容
7 / 1	食品健康影響評価を行う案件を募集します
7 / 1	【大学、試験研究機関等に属する研究者の方向けのお知らせ】令和８年度研究事業の課題二次公募
7 / 3	【食品安全委員会 6/29～7/3 の公表及び更新事項】
7 / 6	【食品安全委員会事務局　技術参与（非常勤一般職国家公務員）募集】
7 / 7	7/7 に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
7 /10	【食品安全委員会 7/6～7/10 の公表及び更新事項】
7 /21	【食品安全委員会 7/13～7/17 の公表及び更新事項】
7 /21	7/21 に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
7 /22	【食品安全委員会事務局　技術参与（非常勤一般職国家公務員）募集】
7 /23	食品安全委員会の「こども霞が関見学デー」のご案内
7 /24	【食品安全委員会 7/21～7/24 の公表及び更新事項】
7 /28	食品安全委員会の「こども霞が関見学デー」のご案内
7 /28	7/28 に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
7 /31	熊本地震で被災された方に心よりお見舞い申し上げます。（黄色ブドウ球菌食中毒に注意）
7 /31	【食品安全委員会 7/27～7/31 の公表及び更新事項】

■８月：11 記事

閲覧数（Facebook）人 12,683/月、（ブログ）1,493 人/月

投稿日	記事内容
8 / 3	【食品安全委員会事務局　技術参与（非常勤一般職国家公務員）募集】
8 / 4	8/4 に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
8 / 7	【食品安全委員会 8/3～8/7 の公表及び更新事項】
8 /10	【食品安全委員会事務局　技術参与（非常勤一般職国家公務員）募集】
8 /10	【大学、試験研究機関等に属する研究者の方向けのお知らせ】令和９年度研究事業の課題公募
8 /14	【食品安全委員会 8/10～8/14 の公表及び更新事項】
8 /18	8/18 に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
8 /21	【食品安全委員会 8/17～8/21 の公表及び更新事項】

8/25	8/25 に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
8/26	サルモネラ属菌による食中毒について
8/28	【食品安全委員会 8/24～8/28 の公表及び更新事項】

■９月：11 記事

閲覧数（Facebook）6,553 人/月、（ブログ）1,206 人/月

投稿日	記事内容
9/4	【食品安全委員会 8/31～9/4 の公表及び更新事項】
9/7	令和８年度調査事業の公告開始（２課題）について
9/8	9/8 に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
9/9	食品安全委員会広報誌「食品安全」第６３号を公表しました。
9/11	【食品安全委員会 9/7～9/11 の公表及び更新事項】
9/15	9/15 に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
9/18	【食品安全委員会事務局　技術参与（非常勤一般職国家公務員）募集】
9/18	【食品安全委員会 9/14～9/18 の公表及び更新事項】
9/25	食品安全委員会の英文電子ジャーナル「Food Safety - The Official Journal of Food Safety Commission」Vol. 14, No.3 を公開しました。
9/25	"Food Safety - The Official Journal of the Food Safety Commission of Japan" Volume 14, Issue 3 has just been published.
9/25	【食品安全委員会 9/24～9/25 の公表及び更新事項】

（２）X（旧 Twitter）

食中毒の防止法等、一般消費者にとって身近で関心（共感）の高いものや、タイムリーなもの、緊急性の高いものを中心に情報発信。

■７月：６記事

フォロワー4,833 人

投稿日	記事内容
7/1	食品安全委員会は、「自ら評価」の案件を公募しています。令和８年度は７月 31 日（金）締め切りです！自ら評価及び公募について詳しくはリンクからご確認ください。
7/6	現在、食品安全委員会事務局では、リスク評価の業務補助及び広報・リスクコミュニケーションを担当する技術参与を募集しています。 ご応募を心よりお待ちしております。 応募資格、提出書類、勤務条件などの詳細はこちらをご覧ください。
7/22	現在、食品安全委員会事務局では、リスク評価の業務補助、広報・リスクコミュニケーション及び情報収集を担当する技術参与を募集しています。 ご応募を心よりお待ちしております。 応募資格、提出書類、勤務条件などの詳細はこちらをご覧ください。
7/23	7 月 29 日,30 日に「こども霞が関見学デー」を開催します。 食品安全委員会では、「食べ物のひみつ」（うんこドリル）のポスター展示・配布、食品の安全についてのクイズの実施などを行います。同じビルに入る機関の合同開催。予約は不要。是非お越しください。

7 /28	7 月 29 日,30 日に「こども霞が関見学デー」を開催します。 食品安全委員会では、「食べ物のひみつ」（うんこドリル）のポスター展示・配布、食品の安全についてのクイズの実施などを行います。同じビルに入る機関との合同開催。予約不要。是非お越しください。
7 /31	熊本地震で被災された方に心よりお見舞い申し上げます。猛暑で気を付けたい食中毒菌は黄色ブドウ球菌です。この菌は、30℃～37℃で最も増殖すると言われていますので十分お気をつけください。地震の収束と、被災された方の一日も早く平穏な生活に戻れることを願っております。

■８月：３記事

フォロワー4,857 人

投稿日	記事内容
8 / 3	現在、食品安全委員会事務局では、リスク評価の業務補助、広報・リスクコミュニケーション及び情報収集を担当する技術参与を募集しています。 ご応募を心よりお待ちしております。 応募資格、提出書類、勤務条件などの詳細はこちらをご覧ください。
8 /10	現在、食品安全委員会事務局では、リスク評価の業務補助、広報・リスクコミュニケーション及び情報収集を担当する技術参与を募集しています。 ご応募を心よりお待ちしております。 応募資格、提出書類、勤務条件などの詳細はこちらをご覧ください。
8 /26	サルモネラ属菌は様々な動物に感染する菌で、自然界に広く分布しています。汚染された食品を摂取して発症することがあります。卵とその加工品、鶏肉などの汚染された食品の摂取後、12～48 時間の潜伏期を経て急性胃腸炎が現れます。食中毒対策の基本「つけない」「ふやさない」「やっつける」が重要

■９月：２記事

フォロワー4,870 人

投稿日	記事内容
9 /11	食品安全委員会広報誌「食品安全」第 63 号を公表しました。農薬の再評価の進展、祖父江委員長の疫学入門、アレルゲンを含む食品（くるみ、落花生）のファクトシートなどの食品安全委員会の活動の記事を掲載しています。是非ご覧ください。
9 /18	現在、食品安全委員会事務局では、リスク評価の業務補助を担当する技術参与を募集しています。 ご応募を心よりお待ちしております。 応募資格、提出書類、勤務条件などの詳細はこちらをご覧ください。

参考1

食品健康影響評価の審議状況

2026. 9.30現在

区分	諮問案件						自ら評価
	要請件数 注1、2）	うち令和8年度分	審議中 注3）	意見募集中 注4）	評価終了件数	うち令和8年度分	評価終了 注5）
添加物	320	2	3	0	317	1	
農薬	1580	29	165	9	1406	28	
うちポジティブリスト関係	542	0	121	2	419	1	
うち清涼飲料水	25	0	0	0	25	0	
うち飼料中の残留農薬基準(注6)	59	0	16	0	43	0	
動物用医薬品	693	8	10	0	683	7	
うちポジティブリスト関係	140	0	7	0	133	0	
器具・容器包装	24	0	0	0	24	0	
汚染物質等	68	0	0	0	68	0	3
うち清涼飲料水	52	0	0	0	52	0	
微生物・ウイルス	23	0	0	0	23	0	2
プリオン	72	0	5	0	67	2	14
かび毒・自然毒	10	0	1	0	9	0	5
遺伝子組換え食品等	439	6	14	4	421	6	
新開発食品	91	0	0	0	91	0	3
肥料・飼料等	347	1	13	0	334	2	
うちポジティブリスト関係	142	0	10	0	132	0	
薬剤耐性菌(注7)	76	0	9	0	67	0	1
高濃度にジアシルグリセロールを含む食品に関するWG	1				1		
食品による窒息事故に関するWG	1				1		
放射性物質の食品健康影響に関するWG	2				2		
アレルゲンを含む食品に関するWG							1
栄養成分添加物WG	4	1	2	0	2	0	
香料WG	7	0	0	0	7	0	
有機フッ素化合物（PFAS）WG	2	0	0	0	2	0	1
ビスフェノールA WG	1	0	1	0	0	0	
その他（指定成分、アルミニウム等）	2				2		1
合計	3763	47	223	13	3527	46	31

（注）1 リスク管理機関から、評価要請後に取り下げ申請があった場合には、その分を要請件数から減じている。
2 評価の過程で新たに審議する必要がある案件が生じた場合には、評価終了時にその案件数を要請件数に加算している。
3 「審議中」欄には、審議継続の案件のほか、今後検討を開始するものを含む。
4 「意見募集中」欄には、意見情報の募集を締め切った後に検討中のものも含む。
5 自ら評価案件については、「評価終了」の欄では、複数省庁に答申したもの、答申が複数案件となったもの等について、その数を記入しているものもある。
6 「飼料中の残留農薬基準」欄については、ポジティブリスト制度の導入に際して、飼料中の残留基準が設定された農薬についての食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件数である。
7 「薬剤耐性菌」欄には、肥飼料・微生物合同調査会（H18.3.6～H27.8.24）で審議したものも含む。

委員会の意見の聴取に関する案件の審議状況

（２０２６年９月３０日現在）

参考２

Ⅰ　専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2003/12/8	農	薬剤耐性菌　テトラサイクリン系抗生物質（薬剤耐性菌）【薬事法】（水産）※	1
2003/12/8	農	薬剤耐性菌　マクロライド系抗生物質（薬剤耐性菌）【薬事法】（水産）※	1
2003/12/8	農	薬剤耐性菌　スルフォンアミド系合成抗菌剤（薬剤耐性菌）【薬事法】（水産）※	1
2004/10/29	農	薬剤耐性菌　アンピシリンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤（注射用ビクシリン）【再審査】■	1
2004/10/29	農	薬剤耐性菌　チアンフェニコールを有効成分とする牛及び豚の注射剤（ネオマイゾン注射液及びバシット注射液）　【再審査】■	1
2005/2/14	厚	農薬　ジコホールー	1
2005/8/5	農	肥料・飼料等　スルファメトキサゾール及びトリメトプリムを有効成分とする豚の飲水添加剤（動物用シノラール液）　【再審査】■	1
2006/7/18	厚	農薬　ジコホール☆	1
2006/12/19	厚	農薬　フリラゾール☆	1
2007/1/12	厚	農薬　イマゼタピルアンモニウム塩☆	1
2007/1/12	厚	農薬　ピノキサデン☆	1
2007/2/6	厚	農薬　スピロキサミン☆	1
2007/2/6	厚	動物用医薬品　アレスリン☆	1
2007/2/6	厚	動物用医薬品　クロルマジノン☆	1
2007/3/6	厚	農薬　トリチコナゾール☆	1
2007/6/5	厚	農薬　メソスルフロンメチル☆	1
2007/6/5	厚	農薬　スルフェントラゾン☆	1
2007/12/18	厚	農薬　クロピラリド☆	1
2007/12/18	厚	農薬　イソキサジフェンエチル☆	1
2008/3/11	厚	農薬　酸化プロピレン☆	1
2008/3/11	厚	農薬　ブロディファコウム☆	1
2008/3/25	厚	農薬　イプロバリカルブ☆	1
2008/3/25	厚	農薬　ピリデート☆	1
2008/3/25	厚	農薬　フッ化スルフリル☆	1
2008/7/8	厚	農薬　クロキントセットメキシル☆	1
2008/7/8	厚	農薬　クロジナホッププロパルギル☆	1
2008/7/8	厚	器具・容器包装　ビスフェノールＡがヒトの健康に与える影響について※	1
2009/2/3	厚	農薬及び動物用医薬品　ホキシム☆	2
2009/2/9	厚	農薬　エチオン☆	1
2009/2/9	厚	農薬　オキシデメトンメチル☆	1
2009/2/9	厚	農薬　ジクロラン☆	1
2009/2/9	厚	農薬　ジノカップ☆	1
2009/2/9	厚	農薬　フェンプロピモルフ☆	1
2009/2/9	厚	農薬　ベナラキシル☆	1
2009/2/9	厚	農薬　ホレート☆	1
2009/3/24	厚	農薬　パラチオンメチル☆	1
2009/3/24	厚	農薬及び動物用医薬品　ジクロルボス及びナレド☆	2
2010/2/16	厚	肥料・飼料等　アスタキサンチン　（対象外物質）☆	1
2010/2/16	厚	肥料・飼料等　β-アポ-8'-カロチン酸エチルエステル　（対象外物質）☆	1

Ⅰ　専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2010/2/16	厚	肥料・飼料等　β-カロテン　　（対象外物質）☆	1
2010/2/16	厚	肥料・飼料等　酒石酸　　（対象外物質）☆	1
2010/2/16	厚	肥料・飼料等　トウガラシ色素　　（対象外物質）☆	1
2010/2/16	厚	肥料・飼料等及び農薬　乳酸　　（対象外物質）☆	2
2010/2/16	厚	肥料・飼料等　マリーゴールド色素　　（対象外物質）☆	1
2010/2/16	厚	肥料・飼料等　メナジオン　　（対象外物質）☆	1
2010/2/16	厚	肥料・飼料等　レチノール　　（対象外物質）☆	1
2010/3/1	厚	農薬　フルロキシピル☆	1
2010/5/11	厚	農薬　クロルデン☆	1
2010/8/12	厚	農薬　ハロキシホップ☆	1
2010/9/13	厚	農薬　クロマゾン☆	1
2010/9/13	厚	農薬　トリクロピル☆	1
2010/9/27	厚	農薬　酸化フェンブタスズ☆	1
2010/11/12	厚	農薬　イマザリル☆	1
2010/11/12	厚	農薬　ジフルフェンゾピル☆	1
2010/11/12	厚	農薬　ジメチピン☆	1
2010/11/12	厚	農薬　テルブホス☆	1
2010/11/12	厚	農薬　トリアスルフロン☆	1
2010/11/12	厚	農薬　パラチオン☆	1
2010/11/12	厚	農薬　ビンクロゾリン☆	1
2010/11/15	農	農薬　テルブホス　　（飼料中）☆	1
2010/12/10	厚	農薬及び動物用医薬品　クロルフェンビンホス☆	2
2010/12/10	厚	農薬及び動物用医薬品　メトプレン☆	2
2010/12/10	農	農薬　メトプレン（飼料中）☆	1
2011/1/24	厚	農薬　ペンコナゾール☆	1
2011/2/10	厚	農薬　エンドスルファン☆	1
2011/2/10	厚	農薬　クロリムロンエチル☆	1
2011/3/25	厚	農薬　エタメツルフロンメチル☆	1
2011/3/25	厚	農薬　ジスルホトン☆	1
2011/3/25	厚	農薬　ブロモキシニル☆	1
2011/4/19	厚	添加物　カルミンー	1
2011/4/25	農	農薬　ブロモキシニル　　（飼料中）☆	1
2011/9/22	厚	農薬　2,4-DB☆	1
2011/9/22	厚	農薬　EPTC☆	1
2011/9/22	厚	農薬　アミノピラリド☆	1
2011/9/22	厚	農薬　イオドスルフロンメチル☆	1
2011/9/22	厚	農薬　クロルスルフロン☆	1
2011/9/22	厚	農薬　ジフェンゾコート☆	1
2011/9/22	厚	農薬　テクナゼン☆	1
2011/9/22	厚	農薬　ニコスルフロン☆	1
2011/9/22	厚	農薬　マレイン酸ヒドラジド☆	1
2011/9/22	厚	農薬　メトスルフロンメチル☆	1
2011/10/11	厚	農薬　ジクロホップメチル☆	1

Ⅰ　専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2011/10/11	厚	農薬　トリベヌロンメチル☆	1
2011/10/11	厚	農薬　ピクロラム☆	1
2011/10/11	厚	農薬　フェノキサプロップエチル☆	1
2011/10/11	厚	農薬　フルオメツロン☆	1
2011/10/11	厚	農薬　アトラジン☆	1
2011/10/11	農	農薬　アトラジン　　（飼料中）☆	1
2011/11/18	厚	農薬　トラルコキシジム☆	1
2011/11/18	厚	農薬　プロスルフロン☆	1
2011/12/19	厚	プリオン　牛海綿状脳症（BSE）対策の見直し（オランダ）②&※	1
2012/1/23	厚	農薬及び動物用医薬品　シハロトリン☆	2
2012/1/23	農	農薬　エチオン　　（飼料中）☆	1
2012/1/23	農	農薬　ホレート　　（飼料中）☆	1
2012/1/23	農	農薬　シハロトリン　　（飼料中）☆	1
2012/1/23	農	農薬　ジクロルボス及びナレド　　（飼料中）☆	1
2012/3/26	厚	農薬　リムスルフロン☆	1
2012/5/21	厚	農薬　４－クロルフェノキシ酢酸☆	1
2012/5/21	厚	農薬　トリデモルフ☆	1
2012/5/21	厚	農薬　フラムプロップメチル☆	1
2012/7/18	厚	農薬　テフルトリン☆	1
2012/8/21	厚	農薬　フサライド☆	1
2012/8/21	厚	農薬　フルスルファミド☆	1
2012/9/18	厚	農薬　メコプロップ☆	1
2013/1/22	農	農薬　クロルピリホスメチル　　（飼料中）☆	1
2013/1/22	農	農薬　クロルフェンビンホス　　（飼料中）☆	1
2013/1/22	農	農薬　シマジン　　（飼料中）☆	1
2013/1/22	農	農薬　パラチオン　　（飼料中）☆	1
2013/1/30	厚	農薬　クロルピリホスメチル☆	1
2013/1/30	厚	農薬　シマジン☆	1
2013/3/12	厚	農薬　アイオキシニル☆	1
2013/3/12	厚	農薬　エテホン☆	1
2013/3/12	厚	農薬　オキサミル☆	1
2013/3/12	厚	農薬　カルフェントラゾンエチル☆	1
2013/3/12	厚	農薬　クロリダゾン☆	1
2013/3/12	厚	農薬　ターバシル☆	1
2013/3/12	厚	農薬　ピリミホスメチル☆	1
2013/3/12	厚	農薬　フルシトリネート☆	1
2013/3/12	厚	農薬　ホルクロルフェニュロン☆	1
2013/3/12	厚	農薬　メチダチオン☆	1
2013/3/12	厚	農薬　レナシル☆	1
2013/3/13	農	農薬　ピリミホスメチル　　（飼料中）☆	1
2013/6/10	農	農薬　γ-BHC（飼料中）☆	1
2013/6/10	農	農薬　ジメトエート　　（飼料中）☆	1
2013/6/10	農	農薬　メチダチオン　　（飼料中）☆	1

Ⅰ　専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2013/6/12	厚	農薬　アラニカルブ☆	1
2013/6/12	厚	農薬　イマザキン☆	1
2013/6/12	厚	農薬　ジウロン☆	1
2013/6/12	厚	農薬　シプロコナゾール☆	1
2013/6/12	厚	農薬　ジメトエート☆	1
2013/6/12	厚	農薬　フルキンコナゾール☆	1
2013/8/20	厚	農薬　DBEDC■〈一部☆〉	2
2013/8/20	厚	農薬　ノニルフェノールスルホン酸銅■〈一部☆〉	2
2013/8/20	厚	農薬　ヒメキサゾール☆	1
2013/8/20	厚	農薬　メトリブジン☆	1
2013/8/20	厚	農薬　リニュロン☆	1
2013/8/20	厚	肥料・飼料等及び農薬　ジヒドロストレプトマイシン及びストレプトマイシン☆	2
2014/9/9	厚	農薬　ピラゾリネート☆	1
2015/5/14	厚	プリオン　スイスから輸入される牛肉及び牛の内臓※	1
2015/5/14	厚	プリオン　リヒテンシュタインから輸入される牛肉及び牛の内臓※	1
2015/9/30	厚	プリオン　イタリアから輸入される牛肉及び牛の内臓※	1
2017/4/19	厚	農薬　ピレトリン☆	1
2017/8/3	厚	プリオン　英国から輸入される牛の肉及び内臓※	1
2017/11/30	厚	遺伝子組換え食品等　ミラクリン発現トマトTU-IPI05B-1(食品)■	1
2017/12/20	農	遺伝子組換え食品等　ミラクリン発現トマトTU-IPI05B-1（飼料）■	1
2018/7/4	農	薬剤耐性菌　バルネムリン塩酸塩を有効成分とする豚の飼料添加剤（エコノアプレミックス1%及びエコノアプレミックス10%）※再審査■	1
2019/2/27	農	薬剤耐性菌　アモキシシリン水和物を有効成分とする牛及び豚の注射剤（アモスタックLA注）※再審査■	1
2019/10/24	厚	遺伝子組換え食品等　チョウ目害虫抵抗性サトウキビ CTC175-A■	1
2022/4/21	厚	農薬及び動物用医薬品　シペルメトリン■	1
2022/12/1	厚	添加物　亜塩素酸水■	1
2022/12/14	厚	農薬　チオジカルブ及びメソミル☆	1
2022/12/14	農	農薬　アセタミプリド※	1
2022/12/14	農	動物用医薬品　クロチアニジンとd-d-T80-プラレトリンを有効成分とする畜舎噴霧剤（ヌーベルショット、トリプルアクセル）■	1
2023/1/10	厚	遺伝子組換え食品等　Trichoderma reesei RF6197株を使用して生産されたペクチナーゼ■	1
2023/1/10	厚	遺伝子組換え食品等　Trichoderma reesei RF6201株を使用して生産されたペクチナーゼ■	1
2023/1/25	農	農薬　グリホサート※	1
2023/3/22	農	農薬　フサライド※	1
2023/8/31	厚	農薬　ジアフェンチウロン〈一部☆〉	2
2023/11/21	厚	農薬　フルペンチオフェノックス■	1

Ⅰ　専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2024/2/7	厚	遺伝子組換え食品等　Saccharomyces cerevisiae NS470（CBS 615.94）株を利用して産生されたα-ガラクトシダーゼ■	1
2024/2/28	厚	かび毒・自然毒　食品中のオクラトキシンAの規格基準の設定について－	1
2025/1/8	消	遺伝子組換え食品等　Trichoderma reesei RF6199株を利用して生産されたペクチナーゼ■	1
2025/3/18	消	その他（WG等）　グルコン酸銅■	1
2025/4/16	消	農薬　アセタミプリド－	1
2025/4/16	消	農薬　グリホサート－	1
2025/4/16	消	農薬　フサライド－	1
2025/5/21	農	薬剤耐性菌　キノロン系合成抗菌剤が動物用医薬品として家畜に投与された場合に選択される薬剤耐性菌※	1
2025/6/19	消	農薬　シアン化水素☆	1
2025/7/30	消	農薬　シハロホップブチル－	1
2025/7/30	農	農薬　シハロホップブチル※	1
2025/7/31	農	遺伝子組換え食品等　チョウ目害虫抵抗性及び除草剤アセト乳酸合成酵素阻害剤耐性ダイズ（COR23134）■	1
2025/8/1	消	遺伝子組換え食品等　チョウ目害虫抵抗性及び除草剤アセト乳酸合成酵素阻害剤耐性ダイズ（COR23134）（食品）■	1
2025/10/22	農	農薬　インダノファン※	1
2025/10/22	農	農薬　トルクロホスメチル※	1
2025/10/22	農	農薬　フェントラザミド※	1
2025/10/22	消	農薬　インダノファン－	1
2025/10/22	消	農薬　トルクロホスメチル－	1
2025/10/22	消	農薬　フェントラザミド－	1
2025/10/31	消	遺伝子組換え食品等　SGR5株を利用して生産された2’-フコシルラクトース■	1
2025/12/10	農	農薬　ピロキロン※	1
2025/12/10	農	農薬　S-メトラクロール※	1
2025/12/10	消	農薬　ピロキロン－	1
2025/12/10	消	農薬　メトラクロール－	1
2026/1/28	農	薬剤耐性菌　セフキノム硫酸塩を有効成分とする牛及び豚の注射剤（コバクタン／セファガード）■	1
2026/3/11	消	肥料・飼料等　プラドフロキサシン■	1
2026/5/1	消	農薬　ピメトロジン■	1
2026/5/13	農	動物用医薬品　ローソニア・イントラセルラリス感染症生ワクチン（シード）（エンテリゾール イリアイティスＴＦ及び同ＦＣ）※■	1
2026/6/2	消	遺伝子組換え食品等　JPAN010株を利用して生産されたグルコアミラーゼ■	1
2026/6/17	農	農薬　カルボスルファン※	1
2026/6/17	農	農薬　ジチアノン※	1

Ⅰ　専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2026/6/17	農	農薬　テブフェンピラド※	1
2026/6/17	農	農薬　ベンフラカルブ※	1
2026/6/17	消	農薬　カルボスルファンー	1
2026/6/17	消	農薬　カルボフランー	1
2026/6/17	消	農薬　ジチアノン■	1
2026/6/17	消	農薬　テトフルピロリメト■	1
2026/6/17	消	農薬　テブフェンピラドー	1
2026/6/17	消	農薬　ベンフラカルブー	1
2026/7/21	消	添加物　酸化亜鉛■	1
2026/7/21	消	添加物及び遺伝子組換え食品等　Escherichia coli BL21 GLase株を用いて生産されたα-1,4-グルカンリアーゼ■	2
2026/8/19	農	動物用医薬品　メロキシカムを有効成分とする豚の注射剤（豚用メタカム2%注射液）■	1
2026/8/19	農	農薬　カフェンストロール※	1
2026/8/19	農	農薬　チオファネートメチル※	1
2026/8/19	農	農薬　ベノミル※	1
2026/8/19	農	農薬　ホセチル※	1
2026/8/19	消	農薬　カフェンストロールー	1
2026/8/19	消	農薬　カルベンダジム、チオファネート、チオファネートメチル及びベノミル■	1
2026/8/19	消	農薬　プロピコナゾール■	1
2026/8/19	消	農薬　ホセチルー	1
2026/9/1	消	遺伝子組換え食品等　GABp6株を利用して生産されたγ-アミノ酪酸■	1
2026/9/1	農	遺伝子組換え食品等　RFE8922株を利用して生産されたリボフラビン■	1
2026/9/9	農	肥料・飼料等　α-ガラクトシダーゼ・キシラナーゼ■	1

223

（注）
－：食品安全基本法第24条第１項案件（企業申請を含まない）
☆：ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第２項に基づく意見聴取案件
※：食品安全基本法第24条第３項に基づく意見聴取案件
■：食品安全基本法第24条第１項に基づく意見聴取案件かつ企業申請案件（平成22年１月１日以降委員会において説明したもののみ）
◎：食品安全基本法第23条第１項第２号による自ら評価案件
&※：食品安全基本法第23条第１項（企業申請以外案件）及び食品安全基本法第24条第３項に基づく意見聴取案件

Ⅱ　専門調査会における審議結果（案）について意見募集を行っているもの

募集期間	対象となる審議結果（案）	
2026/7/8～2026/8/6	遺伝子組換え食品等 JPBL014株を利用して生産されたキシラナーゼ■	1
2026/8/5～2026/9/3	農薬 フルインダピル■	1
2026/8/26～2026/9/24	農薬 イプトリアゾピリド■	1
2026/8/26～2026/9/24	農薬 イマザモックスアンモニウム塩☆	1
2026/8/26～2026/9/24	農薬 イマザモックスアンモニウム塩■	1
2026/9/9～2026/10/8	農薬 ブロマシル※	1
2026/9/9～2026/10/8	農薬 ブロマシルー	1
2026/9/9～2026/10/8	農薬 メタミトロン☆	1
2026/9/9～2026/10/8	農薬 メタミトロン※	1
2026/9/9～2026/10/8	農薬 メタミトロンー	1
2026/9/9～2026/10/8	遺伝子組換え食品等 Escherichia coli K-12 DH1 MDO MAP1001h株を利用して生産された2’-フコシルラクトース■	1
2026/9/9～2026/10/8	遺伝子組換え食品等 H-ELP株を利用して生産されたα-アミラーゼ■	1
2026/9/9～2026/10/8	遺伝子組換え食品等 JPAN013株を利用して生産されたα-ガラクトシダーゼ■	1
		13

（注）

－：食品安全基本法第24条第１項案件（企業申請を含まない）

☆：ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第２項に基づく意見聴取案件

※：食品安全基本法第24条第３項に基づく意見聴取案件

■：食品安全基本法第24条第１項に基づく意見聴取案件かつ企業申請案件（平成22年１月１日以降委員会において説明したもののみ）

◎：食品安全基本法第23条第１項第２号による自ら評価案件

Ⅲ　食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和８年度）

通知日	通知先	食品健康影響評価の対象	
2026/5/13	農	農薬　アラクロール※	1
2026/5/13	消	農薬　アラクロールー	1
2026/5/13	消	農薬　カスガマイシン■	1
2026/5/13	消	農薬　テトラニリプロール■	1
2026/5/13	消	農薬　トリホリン■	1
2026/5/13	消	農薬　プロスルホカルブー	1
2026/5/13	消	農薬　プロパモカルブー	1
2026/5/13	消	農薬及び動物用医薬品　カルバリル■	1
2026/5/19	農	動物用医薬品　動物用ワクチンの添加剤として使用する成分（トリオレイン酸ソルビタン）※	1
2026/5/21	農	肥料・飼料等　たん白質の加水分解により製造された塩酸L-ヒスチジンを原体とする飼料添加物■	1
2026/5/21	消	添加物　酢酸カリウム11-2	1
2026/6/9	消	遺伝子組換え食品等　チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMZIR260系統（食品）■	1
2026/6/9	農	遺伝子組換え食品等　チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMZIR260系統（飼料）■	1
2026/6/10	厚→消	農薬及び動物用医薬品　クロチアニジン■	2
2026/6/10	農	農薬及び動物用医薬品　クロチアニジン※	1
2026/6/10	農	農薬　チアメトキサム※	1
2026/6/10	消	農薬　チアメトキサムー	1
2026/6/10	消	農薬　フェンメゾジチアズ■	1
2026/6/11	厚	プリオン　牛海綿状脳症（ＢＳＥ）国内対策の見直し&※	1
2026/6/11	厚→消	プリオン　牛海綿状脳症（ＢＳＥ）国内対策の見直し&※	1
2026/6/17	農	肥料・飼料等　セフキノム硫酸塩を有効成分とする牛及び豚の注射剤（コバクタン／セファガード）■	1
2026/6/23	消	農薬　アシノナピル■	1
2026/6/23	消	農薬　メタラキシル及びメフェノキサム■	1
2026/6/23	消	農薬　クロロタロニル■	1
2026/6/23	消	農薬　トルフェンピラド■	1
2026/6/23	消	農薬　ピリフルキナゾン■	1
2026/6/24	農	動物用医薬品　メロキシカムを有効成分とする牛の注射剤（メタカム２%注射液）【再審査】■	1

Ⅲ　食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和８年度）

通知日	通知先	食品健康影響評価の対象	
2026/6/24	農	動物用医薬品　前葉性卵胞刺激ホルモン(FSH) を有効成分とする牛の過剰排卵誘起用注射剤（アントリンR10・AI）【再審査】■	1
2026/7/23	厚→消	農薬　シクロキシジム☆	1
2026/7/23	消	農薬　フロリルピコキサミド■	1
2026/7/23	消	農薬　シアゾファミド■	1
2026/7/29	農	農薬及び動物用医薬品　ジノテフラン※	1
2026/7/29	消	農薬及び動物用医薬品　ジノテフラン■	1
2026/7/29	消	農薬　エチプロール■	1
2026/7/29	農	農薬　エチプロール※	1
2026/8/25	消	遺伝子組換え食品等　JPAo013株を利用して生産されたホスホリパーゼ■	1
2026/8/25	消	遺伝子組換え食品等　除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性ダイズDBN9004系統（食品）■	1
2026/8/25	農	遺伝子組換え食品等　除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性ダイズDBN9004系統（飼料）■	1
2026/8/25	消	遺伝子組換え食品等　ＫＮ012株を利用して生産されたβ－ニコチンアミドモノヌクレオチド■	1
2026/8/27	消	農薬　1,3-ジクロロプロペン－	1
2026/8/27	農	農薬　シアナジン※	1
2026/8/27	消	農薬　シアナジン－	1
2026/9/8	農	動物用医薬品　動物用ワクチンの添加剤として使用する成分（鶏卵全卵粉末）※	1
2026/9/8	農	動物用医薬品　フルニキシンメグルミンを有効成分とする馬の経口投与剤（バナミン ペースト）■	1
2026/9/8	農	動物用医薬品　ケトプロフェンを有効成分とする豚の注射剤（ディニタル）■	1

46

（注）

－：食品安全基本法第24条第１項案件（企業申請を含まない）

☆：ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第２項に基づく意見聴取案件

※：食品安全基本法第24条第３項に基づく意見聴取案件

■：食品安全基本法第24条第１項に基づく意見聴取案件かつ企業申請案件（平成22年１月１日以降委員会において説明したもののみ）

◎：食品安全基本法第23条第１項第２号による自ら評価案件

11-1：食品安全基本法第11条第１項第１号案件

11-2：食品安全基本法第11条第１項第２号案件

Ⅳ　その他（令和８年度）

通知日	通知先	件名
2026/6/23	消・農	遺伝子組換え食品（種子植物）に関する食品健康影響評価指針(一部改正)